

提 供 日 2026/08/20
タイトル 【取材依頼】静岡県XR（クロスリアリティ）寄附
講座2026年度第1回公開講座を開催します
担 当 企画部 デジタル戦略課
連 絡 先 デジタル戦略班
TEL 054-221-2912

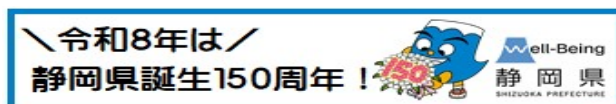


静岡県XR（クロスリアリティ）寄附講座 2026年度第1回公開講座を開催します

県では、静岡理工科大学グループと連携し、仮想空間分野の人づくりと仕事づくりに取り組んでいます

このたび、仮想空間分野の普及啓発のため、公開講座を開催します

日時	令和8年8月27日（木）13時30分～16時30分
会場	静岡理工科大学グループ 静岡駅前キャンパス 4Fホール （静岡市葵区御幸町20番地 M20ビル） ※静岡駅徒歩3分
プログラム	【第1部 講演】 スピーカー：関真也法律事務所 関 真也 氏 タイトル：「AI・XR時代のグレーゾーンを読み解く。」 【第2部 トークセッション】 パネラー：関真也法律事務所 関 真也 氏 （株）A440 代表取締役CEO 金丸 義勝 氏 静岡デザイン専門学校 CGデザイン学科学科長 大川 直樹 氏 モデレーター：静岡県 企画部 デジタル戦略課 デジタル推進参事官 杉本 直也 氏 タイトル：「教育現場の様々な知財法務で困った話」 ※お申し込み方法やプログラムの詳細は添付のチラシを御確認ください





学校法人静岡理工科大学 静岡県XR(クロスリアリティ)寄附講座 2026年 第1回公開講座

AI・XR時代のグレーゾーンを読み解く。 ～ここまではOK?を見極める実践講座～

XRやメタバース、AIの進展により、私たちは現実と仮想が融合した新たな創作・活動領域に立っています。一方で、デジタルツインやアバター、デジタルコンテンツの制作、AIによる生成物の利用などにおいて、「どこまでが許されるのか」「何に注意すべきか」といった法的な判断に悩む場面が増えています。

本講座では、XR・メタバース・AI・NFT等の分野に精通する弁護士であり、日本バーチャルリアリティ学会認定上級VR技術者でもある関真也氏を講師に迎え、最新の法的論点を整理するとともに、クリエイターや開発者が直面する実務的なリスクと対応について解説します。具体的な事例を元に、「これはOKか? NGか?」というグレーゾーンの考え方を共有し、参加者が自ら判断できる視点を身につけることを目指すとともに、デジタルツインや地理空間データ活用、AIとの関係性など、今後の展望についても議論します。

参加
無料

CITY
COMMUNITY FOR
IMMERSIVE-REality TECHNOLOGY

2026
8/27 (木)

13:30~16:30
(受付 13:00~)



スピーカー/パネリスト

関真也法律事務所
関 真也氏



パネリスト

株式会社 A440
代表取締役CEO
金丸 義勝氏



パネリスト

静岡デザイン専門学校
CGデザイン学科学科長
大川 直樹氏



モデレーター

静岡県企画部デジタル戦略課
デジタル推進参事官
杉本 直也氏

第1部
13:35~14:35

関真也法律事務所 関 真也氏 講演

第2部
14:45~15:45

トークセッション

対象

現在XR技術・CG・AIを利用している方、
興味のある方でしたら、どなたでも構いません。
一般・学生は問いません。

定員

120名様
(先着順)

会場

静岡理工科大学グループ
静岡駅前キャンパス 4Fホール
(静岡市葵区御幸町20番地 M20ビル)

8/27(木) **参加無料**
13:30~16:30 受付 13:00~

AI・XR時代のグレーゾーンを読み解く。 ~ここまではOK?を見極める実践講座~

CITY
COMMUNITY FOR
IMMERSIVE-REality TECHNOLOGY

13:35 ~ 14:35

第1部 講演

AI・XR時代のグレーゾーンを読み解く。

スピーカー 関 真也

XRやメタバース、AI技術の発展により、現実と仮想が融合した新たな創作領域が広がっています。一方で、デジタルコンテンツの制作やAI生成物の利用において、法的判断に迷う場面も増えています。本講座では、XR分野に精通する弁護士であり上級VR技術者でもある関真也氏を講師に迎え、最新の法的論点を整理。グレーゾーン的事例を交え、クリエイターや開発者が直面する実務上のリスクと対応策を解説します。創作活動を守り、自ら判断する視点を養う貴重な機会です。

14:35 ~ 14:45 休憩

14:45 ~ 15:45

第2部 トークセッション

教育現場の様々な知財法務で困った話

パネラー 関 真也/金丸 義勝/大川 直樹

モデレーター 杉本 直也

教育現場におけるAIやXRの導入では、生徒がAIに作成させた課題レポートや授業資料が、既存の著作物と類似・依拠している場合の「生成物の著作権の所在」やVR空間で生徒自身が作成、またはシステムが生成したアバターの顔や声が、現実の人物と酷似している場合の「肖像権やパブリシティ権」といった知財法務上の課題が頻出しています。今回は「教育現場の様々な知財法務で困った話」をテーマに、今そこにある課題から、モヤモヤしたことまで、幅広く扱っていきます。

第1部 スピーカー

第2部 パネラー



関 真也 関真也法律事務所

弁護士・ニューヨーク州弁護士。日本バーチャルリアリティ学会認定上級VR技術者。

漫画・アニメ・映画・TV・ゲーム・音楽等のエンタテインメント、ファッション、XR・メタバース、VTuber、生成 AI、人間拡張、スポーツ・eスポーツなどの法務・知的財産を中心に扱う。経産省「Web3.0時代におけるクリエイターエコノミーの創出に係る研究会」委員、経産省・ファッション未来研究会「ファッションローWG」委員など。XRコンソーシアム監事、声の保護と多言語化協会監事、日本商標協会理事、日本知財学会コンテンツ・マネジメント分科会幹事、ファッションビジネス学会ファッションロー研究部会長。主著として「XR・メタバースの知財法務」、「バーチャル空間のビジネスと知財法務の教科書」、「ビジネスのためのメタバース入門」、「ファッションロー」等がある。

THE LAW OFFICE OF
MASAYA SEKI

第2部 パネラー



金丸 義勝

株式会社A440 代表取締役CEO

1996年VISIT入社後、ソニー・コンピュータエンタテインメントや日本マイクロソフトでの勤務を経て、2003年にプレミアムエージェンシーを創業。2015年に株式会社A440を設立し、代表取締役CEOに就任。2025年には本社を静岡市へ移転。同社では3Dスキャンやフォトグラメトリ技術を核に、XRコンテンツの企画・開発からコンサルティングまでを多角的に展開。

第2部 パネラー



大川 直樹

静岡デザイン専門学校
CGデザイン学科学科長

静岡県袋井市出身。HAL名古屋(Hal Nagoya)3DCGデザイン科卒業後、2017年より静岡デザイン専門学校に入職。2024年に設立された「CGデザイン科(3年制)」の学科長を務め、今年度は初の卒業生を輩出。日々の制作を通じた技術向上を重視し、「好きなこと」を追求する大切さを学生に伝えている。

モデレーター



杉本 直也

静岡県企画部デジタル戦略課
デジタル推進参事官

1994年静岡県入庁(土木技術職)。現在はデジタルツインや次世代エモビリティの社会実装を担当。2020年「VIRTUAL SHIZUOKA 構想」でグッドデザイン賞受賞。慶應SDM研究員、Code for Kakegawaメンバー。

申込 方法

右記QRの専用フォームからお申込みください。

申込締切

2026年8/25(火)まで

※定員(120名様)になり次第締切となります。※ご不明な点は下記お問い合わせ内メールアドレスまでご連絡ください。



会場

静岡理工科大学グループ静岡駅前キャンパス 4Fホール

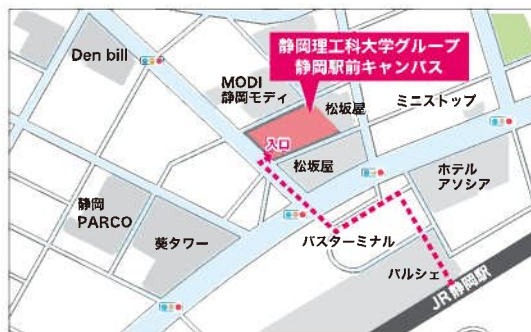
〒420-0857 静岡市葵区御幸町20番地 M20ビル

アクセス

- JR 静岡駅北口より ▶ 徒歩3分(地下道直結)
- 静岡鉄道新静岡けやき通り口より ▶ 徒歩4分

※駐輪場・駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。

1F正面エントランスよりお入りください。
(地下道からはP出口をご利用ください)



お問い合わせ

教育のチカラで静岡を元気に！法人グループの教育資源を活かし、地域とともに「学び」と「交流」の場を育んでいます。



学校法人 静岡理工科大学グループ

シスト

SIST コラボスクエア [地域連携・キャリア支援センター]

〒420-0857 静岡市葵区御幸町20番地 M20ビル 13F

tel 054-204-2499

mail houjin-collabo@sist.ac.jp

HP <https://sist-net.ac.jp/sist-collab-square/>